

旧市民会館・図書館の活用に係るアイデア募集(一般向け) 記入様式

1 氏名	山田 大輔
2 連絡先	
3 アイデアの内容	
<p>① 提案の内容</p> <p>※提案の内容についてご説明下さい。</p>	<p>【活用提案】</p> <p>■スマートウェルネスシティたかいしの実現に向けた商業施設『天女の集い(仮称)』の設立。</p> <p>高石市民のヘルスリテラシーの高まりを背景に、市内一集客力のある『大阪府立臨海スポーツセンター』(RESAS 調)との連携を視野に、上記商業施設を検討。</p> <p>「周辺に買い物が出来るところがない」との地元住民の声にも対応。</p> <p>【提案骨子】</p> <p>■貴市は『スマートウェルネスシティ』の実現に向け、様々な取組に注力する中、関西で唯一、「健幸ポイントプロジェクト」に参画し、市民のヘルスリテラシーの向上に成功。</p> <p>■次なる課題は、社会実験終了後も、市民のヘルスリテラシーレベルを維持・向上させるべく、①「健幸ポイントスキーム(高石版)」の官民連携での構築、②ソーシャルキャピタルを育む場の提供が必要だと考える。</p> <p>■①・②を踏まえ、実際に現地訪問しての感想や、地元の人との会話から、③健康ポイントの消費による地域経済活性化も目指せる場所として提案(現地訪問については別紙ご参照)。</p> <p>■なお、大阪府では現在『健康・長寿』をテーマに万博を誘致しようとしており、相乗効果も見込まれると考える。</p>

<p>②採算性の確保の方法</p> <p>※①の提案について、どのように収益をあげ、採算性を確保するのかご説明下さい。</p>	<p>【初期投資】</p> <p>■PFI(独立採算型)を検討／公的負担を軽減</p> <p>【収益性】</p> <p>■テナント戦略(コンセプトは『健康(幸)』／下記は一例)</p> <p>〔①マルシェ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康食品や南海沿線の特産品、総菜等を販売 ・「ベジステ」の設置や、体験農園で収穫した野菜の販売も <p>〔②飲食関連〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「タニタ食堂」「旬穀旬菜」等、健康を意識した食事処 ・健康と美容に特化した「OTONA ABC クッキングスタジオ」 ・羽衣国際大学(食物栄養学科)との連携 <p>〔③リラクゼーション〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する「府立臨海スポーツセンター」や羽衣天女コースで運動してきた人向けに、スーパー銭湯や足湯を整備。 ・周辺エリアにおける滞在時間を延ばすことで、来場者のコミュニケーション醸成とともに、①や②への消費活動にも貢献。 <p>※バックが水路になっているので、工場夜景を借景に建設。</p> <p>■プロモーション戦略</p> <p>〔イベント(フォトロゲイニング)を通じたPR〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロゲイニングとは、地図に記されたチェックポイントを時間内に数多く巡り、獲得した得点を競うスポーツ。 ①羽衣国際大学(観光コース)との連携により、若者目線で市内の魅力を再発掘した地図を作成。 ②イベント参加者がポイント通過した証明として撮った写真をSNSへ投稿(→県外や海外からの参加者増も期待)。 ③イベントの発着点を上記施設とすることで、イベント終了後に換算された「健幸ポイント」を施設内の消費に繋げる。
---	---

<p>3 提案について自らが協力できる内容</p>	<p>■市外に住む個人なので、大したことは出来ませんが上記アイデアの背景や後述する「健幸ポイントスキーム」のアイデア出し等、貴市まちづくりに貢献出来るのであれば、可能な範囲でお手伝いさせていただきます。</p> <p>【健幸ポイントスキーム高石版】(私案)</p> <p>■社会実験後は、インセンティブとなる健幸ポイントの財源確保が喫緊の課題。持続可能なスキーム構築に向けては官民が連携してまちづくりを検討していく必要がある。私案ではあるが、一例を挙げる。</p> <p>〔STEP1〕 高石市官民協議体設立 & 『健幸ポイント』制度の策定 市民の運動不足解消により医療費支出や保険財政の改善が図れる市と、健康寿命が延びる沿線づくりが沿線価値の向上に繋がる南海電鉄Gを中心に協議体設立し、期待される効果に応じて活動資金を捻出。</p> <p>↓</p> <p>〔STEP2〕 共通インフラ(アプリ等)の開発 万歩計アプリをベースに、歩数を『健幸ポイント』に換算するアプリを開発。担い手としては、ベンチャー企業やシビックテック等を活用、開発費用については、上記活動資金以外に「SI 創業ファンド」の活用も検討。</p> <p>↓</p> <p>〔STEP3〕 ビッグデータの分析・活用 『健幸ポイント』を、「誰が」「どこで」「何に」使ったか等のデータを分析して、『健幸ポイント』事業参加者のニーズを把握し、今回提案した商業施設や市内商店街のテナント選考やマーケティングへの活用をはじめ、魅力的なまちづくりやサービス向上に貢献。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---------------------------	---

※本様式で説明しきれない内容や、絵や図表、写真などについては、適宜補足資料として本様式と同送してください。